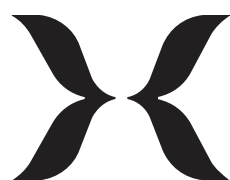


2020（令和2）年度
卒業予定者アンケート調査結果



比治山大学
比治山大学短期大学部

高等教育研究開発センター

2021（令和3）年3月

調査の概要

1. 目的 卒業予定者に対し、在学期間を通しての成長実感、本学への評価を聴取することで、本学の強み・弱みや学生の特性・特徴を把握し、今後の本学の発展のための参考資料とする。
2. 対象 令和2(2020)年度 卒業予定者 比治山大学4年生(2017年度生)
比治山大学短期大学部2年生(2019年度生)
3. 調査方法 インターネット調査
4. 調査期間 2021(令和3)年1月8日～2月12日
5. 回収状況

	対象者*	回答者数	回収率
■大学	415 名	179 名	43.13%
現代文化学部 言語文化学科	128 名	36 名	28.13%
現代文化学部 マスコミュニケーション学科	48 名	11 名	22.92%
現代文化学部 社会臨床心理学科	78 名	46 名	58.97%
現代文化学部 子ども発達教育学科	80 名	39 名	48.75%
健康栄養学部 管理栄養学科	81 名	47 名	58.02%
■短期大学部	231 名	133 名	57.58%
短期大学部 幼児教育科	73 名	33 名	45.21%
短期大学部 総合生活デザイン学科	88 名	76 名	86.36%
短期大学部 美術科	70 名	24 名	34.29%
総計	646 名	312 名	48.30%

*2020(令和2)12月現在卒業(修了)年次在籍者数

6. 実施 高等教育研究開発センター 評価・IR部門
7. 集計 大学・短期大学部・大学院・短期大学部専攻科に分けて表記した。
所属・自由記述等の項目は除く。経年で調査する項目を掲載する。

卒業認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)

【言語文化学科(日本語文化コース)】

- 1 日本語学・日本文学・日本文化および表現・創作に関する専門知識を修得している。
- 2 自らの論理的な思考・判断のプロセスや結果を説明できる、高い表現力・理解力および適切なコミュニケーション能力を修得している。
- 3 地域社会や現代日本における諸課題について、その本質を追究する視点と姿勢とを持ち、豊かな発想力をもって解決策を見出す力を修得している。

【言語文化学科(国際コミュニケーションコース)】

- 1 異文化に関する知識を体系的に理解する学修を通じて、国際社会、地域社会への興味・関心を養い、そこで活躍できる力を修得している。
- 2 発信型の英語力などの語学の学修を通じて、国際社会、地域社会に貢献できる知識・技能を修得している。
- 3 国際社会、地域社会に貢献できる力を養う科目の体系的な学修を通じて、思考力・判断力を養い、他者と協働できる力を修得している。

【マスコミュニケーション学科】

- 1 講義・ゼミナール、さらにはフィールドワークなどの実践的な活動を通じて、「話す・聴く・読む・書く」こと、そして、「チームで取り組む」ことをくり返しトレーニングし、社会人にふさわしいコミュニケーション能力を身に付けている。
- 2 テレビ・新聞などの在来メディアとインターネットなどの新しいメディアの双方に関する基礎知識を持ち、ビジネスの現場や地域社会において、基本的な対応ができる「取材・調査・企画・制作・情報発信」などのスキルを身に付けている。
- 3 観光文化や観光ビジネスに関する基礎知識を持ち、地域の魅力を発見、さらには観光情報・プランへ発展させるための基本的なスキルを身に付けている。

【社会臨床心理学科】

- 1 人間の心や行動に関して、実験や調査および検査といった科学的手法を用いて明らかにし、報告書を作成できるスキルを修得している。
- 2 自分自身だけではなく、他者の心や行動が理解できるスキルを修得している。
- 3 他者とのコミュニケーションができ、共感をもって他者を支援・援助することができるスキルを修得している。

【子ども発達教育学科】

- 1 子どもの健全な発達を支援するにふさわしい豊かな教養を修得している。
- 2 円滑な人間関係や適確な自己表現など社会人として必要な素養を深めている。
- 3 子どもの発達を多面的、総合的に把握するための知識と技能を高めている。
- 4 子どもの思考力や判断力などの育成を支援できる実践的力量を高めている。
- 5 地域社会や職場において子育てや次世代育成支援に寄与できる実践力を備えている。

【管理栄養学科】

- 1 栄養学の高度な知識・技能を修得し、ライフステージすべてにわたる健康・栄養問題の解決に広く活用できる判断力・思考力を身に付けている。

- 2 健康・栄養問題を解決する上で求められるコミュニケーション力、プレゼンテーション力、チームワーク力を有し、栄養マネジメントに沿って栄養の指導を実践できる能力を身に付けている。
- 3 社会人としての幅広い視野と豊かな人間性を備え、食と健康分野で社会の福祉に貢献しようとする意思を持ち、生涯にわたって主体的に学ぶ意欲と態度を身に付けている。

【幼児教育科】

- 1 子どもの最善の利益を尊重し、保育に携わるうえで欠かせない多様な状況における思考力と判断力及び豊かなコミュニケーション力を身に付けている。
- 2 子どもの心身の健康、発達、保育の本質や保育者の役割などに関する基礎的、基本的な知識と技能を身に付けている。
- 3 保育者としての専門性を深め、生活に即した保育を構想することを通して、自己実現の喜びを持つとともに社会に貢献しようとする力と態度を身に付けている。

【総合生活デザイン学科】

- 1 よりよい自己実現をめざすため、自己肯定感に支えられた高い傾聴、受信力を持ち、自らの人生をデザインし、社会の一員として共に生きるための資質・能力を身に付けている。
- 2 生活に関わる分野において社会に寄与できる人材として自立するための確かな専門的知識・技能及び実践力を身に付けている。
- 3 職業人としての自覚を深め、継続的に専門性を高めつつ地域社会や教育界における課題を分析し問題解決する力と態度を身に付けている。

【美術科】

- 1 芸術活動や制作活動を通して、自己表現と伝達を実現するための表現力・創造力および社会において豊かな人間関係を築く力を身に付けている。
- 2 美術分野の基盤となる素材や技術に関する専門的知識と技能を身に付け、それらを用いた創造性豊かな表現ができる力を身に付けている。
- 3 芸術活動や制作活動の中で常に向上心を持ち、集中力や持続力を保つ中で専門性を磨き、表現者・職業人として地域社会や教育界に貢献できる力と態度を身に付けている。

Q3. あなたの現在の1週間(7日間)の生活時間について、(1)～(6)の項目ごとに該当する時間をお答えください。(各項目1つ選択)

		0時間 (%)	1～5時 間 (%)	6～10時 間 (%)	11～15 時間 (%)	16～20 時間 (%)	21～25 時間 (%)	26～30 時間 (%)	31時間 以上 (%)
大学の授業（対面・遠隔を含む）	大学	13.4	69.8	10.1	0.0	1.7	0.0	2.2	2.8
	短期大学部	5.9	40.7	21.5	8.1	15.6	4.4	0.0	3.7
大学の授業（対面・遠隔を含む）の予習・復習など	大学	32.4	54.7	8.4	0.0	1.1	1.1	0.6	1.7
	短期大学部	25.2	52.6	15.6	4.4	0.7	0.0	0.7	0.7
大学の授業（対面・遠隔を含む）以外の学習	大学	46.9	33.5	5.0	1.1	2.8	2.2	1.7	6.7
	短期大学部	49.6	36.3	8.9	1.5	2.2	0.7	0.0	0.7
部活動・サークル活動	大学	97.2	2.2	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0
	短期大学部	89.6	7.4	0.7	0.7	0.7	0.7	0.0	0.0
アルバイト	大学	39.1	14.0	12.8	12.3	12.8	2.2	2.2	4.5
	短期大学部	28.9	12.6	21.5	13.3	14.1	3.7	3.0	3.0
娯楽・交友	大学	14.5	41.3	18.4	10.6	4.5	3.4	1.1	6.1
	短期大学部	7.4	37.0	27.4	10.4	4.4	3.0	3.7	6.7

Q4. 次の項目それぞれについて、あなたが大学生活で取り組んだこととしてあてはまるものをお選びください。
(各項目1つ選択)

		あては まる (%)	やや あては まる (%)	どちら とも いえな い (%)	あまり あては まらな い (%)	あては まらな い (%)
教養を身に付けた	大学	46.4	42.5	6.7	2.8	1.7
	短期大学部	48.1	42.2	6.7	1.5	1.5
専門的知識を学んだ	大学	55.3	36.9	4.5	2.2	1.1
	短期大学部	56.3	37.8	5.2	0.7	0.0
免許や資格を取った	大学	42.5	25.1	12.3	8.4	11.7
	短期大学部	53.3	26.7	8.9	1.5	9.6
学生生活を楽しんだ	大学	46.4	39.7	10.6	2.2	1.1
	短期大学部	53.3	37.8	5.9	2.2	0.7
アルバイトをした	大学	62.0	26.8	5.0	2.8	3.4
	短期大学部	66.7	20.0	3.7	2.2	7.4
留学をした	大学	7.8	2.2	2.2	0.0	87.7
	短期大学部	4.4	3.0	1.5	0.0	91.1
クラブや課外活動をした	大学	27.9	17.3	7.3	5.0	42.5
	短期大学部	14.1	14.8	9.6	7.4	54.1
進学に向けた準備をした	大学	14.5	8.9	8.9	3.4	64.2
	短期大学部	18.5	16.3	12.6	3.7	48.9
就職に向けた準備をした	大学	53.6	31.3	6.1	5.6	3.4
	短期大学部	47.4	28.1	14.1	3.0	7.4

Q5. 本学での授業に対して、あなたはどのように取り組みましたか。項目ごとに、あてはまるものをお選びください。(各項目1つ選択)※状況や場合によって異なると思いますが、一般的にこの程度という感覚でお答えください。

		あてはまる (%)	ある程度あてはまる (%)	どちらともいえない (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)
グループワークやディスカッションに積極的に参加していた	大学	30.2	46.9	15.6	6.1	1.1
	短期大学部	26.7	47.4	17.8	4.4	3.7
必要な予習や復習はした上で授業にのぞんでいた	大学	18.4	37.4	30.7	9.5	3.9
	短期大学部	18.5	36.3	31.1	10.4	3.7
先生に質問したり、勉強の仕方を相談したりしていた	大学	15.1	36.9	29.1	12.8	6.1
	短期大学部	16.3	37.0	26.7	12.6	7.4
課されたレポートや課題を少しでも良いものに仕上げようと努力した	大学	31.8	51.4	12.3	3.4	1.1
	短期大学部	35.6	48.1	12.6	3.0	0.7
レポートや課題は満足がいくように仕上げた	大学	26.3	56.4	12.8	2.8	1.7
	短期大学部	28.1	52.6	15.6	2.2	1.5
授業には意欲的に参加した	大学	30.7	44.7	20.1	3.4	1.1
	短期大学部	25.9	55.6	14.8	2.2	1.5
プレゼンテーションの際、何を質問されても大丈夫なように十分に調べた	大学	14.0	36.3	35.8	10.6	3.4
	短期大学部	14.8	31.9	38.5	11.9	3.0
授業はただぼうっと聞いていた	大学	5.0	14.0	32.4	34.6	14.0
	短期大学部	3.7	17.0	28.1	35.6	15.6
自分では積極的に学習していたと思う	大学	15.6	38.5	35.8	7.3	2.8
	短期大学部	17.0	40.0	36.3	5.2	1.5
勉強は好きである	大学	8.4	21.2	36.3	19.0	15.1
	短期大学部	5.2	20.0	36.3	19.3	19.3

Q6. 本学の授業とあなたとの関連についてどう思いますか。項目ごとに、あてはまるものをお選びください。
(各項目1つ選択)

		よくあ てはま る (%)	ある程 度 あては まる (%)	あまり あては まらない (%)	全くあ てはま らない (%)
卒業後にやりたいこと が決まった	大学	35.8	37.4	19.6	7.3
	短期大学部	44.4	34.8	16.3	4.4
大学での授業はやりた いことに密接に関わっ ていた	大学	26.8	38.5	25.1	9.5
	短期大学部	48.1	38.5	10.4	3.0
授業を通じてやりたい ことが見つかった	大学	22.9	38.5	25.7	12.8
	短期大学部	37.0	37.0	22.2	3.7

Q7. 本学について、あなたは次の点でどのくらい満足していますか。(各項目1つ選択)

		満足 (%)	やや満 足 (%)	やや不 満 (%)	不満 (%)
授業全般	大学	20.1	61.5	15.6	2.8
	短期大学部	20.0	70.4	7.4	2.2
授業外での教員との関 わり	大学	30.2	50.3	15.1	4.5
	短期大学部	23.7	65.9	8.1	2.2
図書館などの学習施設	大学	21.8	44.1	25.1	8.9
	短期大学部	19.3	66.7	8.1	5.9
パソコンなどの情報環 境、サポート	大学	20.1	35.2	30.7	14.0
	短期大学部	20.7	61.5	12.6	5.2
就職指導・サポート	大学	17.9	46.9	25.1	10.1
	短期大学部	17.8	60.7	15.6	5.9
学習・その他のサポー ト	大学	14.0	54.7	25.1	6.1
	短期大学部	16.3	68.9	11.1	3.7
大学生活全般	大学	25.7	54.7	14.5	5.0
	短期大学部	24.4	64.4	8.1	3.0

Q9. 次の点で本学の授業は、どのくらい役立っていたと思いますか。また自分の実力はどの程度あると思いますか。項目ごとに、あてはまるものをお選びください。(各項目1つ選択)

		授業の役立ち度				自身の実力の自己評価			
		役立った (%)	ある程度役立った (%)	あまり役立っていません (%)	役立っていません (%)	十分実力はある (%)	ある程度実力はある (%)	あまり実力はない (%)	実力は不十分 (%)
将来の職業に関連する知識や技能	大学	31.3	46.9	16.8	5.0	5.0	59.2	30.7	5.0
	短期大学部	43.7	48.9	5.9	1.5	9.6	61.5	25.9	3.0
専門分野の知識・理解	大学	34.1	51.4	12.3	2.2	5.0	61.5	29.6	3.9
	短期大学部	46.7	44.4	7.4	1.5	8.1	68.1	20.7	3.0
論理的に文章を書く力	大学	21.8	51.4	21.2	5.6	5.6	50.8	36.9	6.7
	短期大学部	23.7	54.8	16.3	5.2	7.4	46.7	37.8	8.1
外国語活用の力	大学	10.6	26.8	33.5	29.1	2.2	22.3	36.3	39.1
	短期大学部	11.1	31.9	33.3	23.7	4.4	27.4	39.3	28.9
ものごとを分析的・批判的に考える力	大学	18.4	60.9	15.6	5.0	7.3	57.0	30.7	5.0
	短期大学部	22.2	55.6	17.0	5.2	9.6	55.6	28.9	5.9
幅広い知識、ものの見方	大学	28.5	56.4	11.7	3.4	7.8	67.0	22.3	2.8
	短期大学部	29.6	61.5	6.7	2.2	11.9	60.0	24.4	3.7
主体となって調査・研究・発表を行う能力	大学	22.9	56.4	16.8	3.9	8.4	54.2	31.8	5.6
	短期大学部	24.4	57.0	14.1	4.4	8.9	50.4	34.8	5.9

Q10. 以下について、自分にどの程度あてはまると思いますか。(各項目1つ選択)

		あては まらな い (%)	ややあ てはま らない (%)	どちら ともい えない (%)	ややあ てはま る (%)	あては まる (%)
始めたことは何であれやり遂げる	大学	7.8	11.7	19.6	39.1	21.8
	短期大学部	11.1	15.6	19.3	35.6	18.5
頑張りやである	大学	5.6	15.6	24.0	36.9	17.9
	短期大学部	11.1	19.3	23.0	30.4	16.3
終わるまで何カ月もかかる計画にずっと興味を持ち続けるのは難しい	大学	5.6	20.1	29.6	37.4	7.3
	短期大学部	9.6	23.0	29.6	26.7	11.1
私は困難にめげない	大学	5.6	19.0	32.4	30.2	12.8
	短期大学部	6.7	21.5	35.6	27.4	8.9
物事に対して夢中になっても、しばらくするとすぐに飽きてしまう	大学	6.7	26.3	26.8	31.3	8.9
	短期大学部	10.4	22.2	31.1	28.9	7.4
いったん目標を決めてから、後になって別の目標に変えることがよくある	大学	7.3	20.1	34.1	30.7	7.8
	短期大学部	7.4	22.2	34.8	24.4	11.1
勤勉である	大学	12.3	24.0	39.1	18.4	6.1
	短期大学部	14.8	28.1	31.1	19.3	6.7
新しいアイデアや計画を思いつくと、以前の計画から関心がそれる	大学	5.0	24.6	36.3	27.4	6.7
	短期大学部	5.2	21.5	37.0	23.0	13.3

Q11. あなたは自分自身をどう思っていますか。項目ごとに、あてはまるものをお選びください。(各項目1つ選択)

		そうだ (%)	まあそ うだ (%)	あまり そうで はない (%)	そうで はない (%)
私は価値のある人間だと思う	大学	20.7	38.0	33.5	7.8
	短期大学部	14.8	41.5	31.1	12.6
私は人とうまく協力できるほうだと思う	大学	34.1	48.6	14.0	3.4
	短期大学部	25.2	54.1	16.3	4.4
私はいまの自分に満足している	大学	18.4	38.0	32.4	11.2
	短期大学部	11.9	41.5	28.9	17.8
私は努力すれば大体のことができると思う	大学	19.6	52.0	22.3	6.1
	短期大学部	17.8	50.4	27.4	4.4
私は辛いことがあっても乗り越えられると思う	大学	26.8	50.8	17.3	5.0
	短期大学部	14.8	57.0	22.2	5.9
私は怒った時や興奮している時でも自分をコントロールできるほうだ	大学	24.0	51.4	17.3	7.3
	短期大学部	16.3	55.6	24.4	3.7

Q12. あなたは以下の「4×3の比治山力」の12の項目について、現在どの程度あてはまると思いますか。項目ごとに、あてはまるもの(達成度)をお選びください。(各項目1つ選択)※項目の中の「チーム」という言葉は、共同研究・共同発表や授業中のグループワーク、クラブ・サークル活動や行事参加などで、同じ目標達成や課題解決を目指す集団を指します。

		あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	どちらともいえない (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)
課題に取り組むために、必要な情報を自分で集めることができる	大学	22.9	55.9	19.6	0.6	1.1
	短期大学部	22.2	48.9	23.7	5.2	0.0
集めた情報に基づいて、論理的に考えることができる	大学	15.1	55.9	22.3	5.6	1.1
	短期大学部	11.1	50.4	27.4	10.4	0.7
自分の興味関心に基づいて、課題やテーマを設定することができる	大学	19.0	56.4	19.0	5.6	0.0
	短期大学部	20.0	48.1	24.4	7.4	0.0
課題に取り組む際に、いろいろなアイデアを考え出すことができる	大学	21.2	45.3	25.1	7.8	0.6
	短期大学部	11.9	54.8	28.1	5.2	0.0
課題解決に向けて、見通しを持った企画・計画を立てることができる	大学	14.0	51.4	24.0	10.1	0.6
	短期大学部	10.4	46.7	31.9	9.6	1.5
自分とは異なる意見にも、耳を傾けることができる	大学	40.2	45.8	11.7	2.2	0.0
	短期大学部	31.1	49.6	14.8	4.4	0.0
課題解決に向けて、まわりの人と意見をやりとりすることができる	大学	34.6	46.4	16.2	2.2	0.6
	短期大学部	25.2	48.9	18.5	5.9	1.5
チームに貢献できるような行動をとることができる	大学	22.9	50.8	23.5	2.2	0.6
	短期大学部	18.5	48.1	26.7	5.9	0.7
他者との意見交換から、自分の意見の正しいところと間違っているところを振り返って把握することができる	大学	21.2	55.3	19.0	3.9	0.6
	短期大学部	20.7	51.1	22.2	5.9	0.0
自分やチームのアイデアを、レポートや作品などの形として表現することができる	大学	17.9	54.2	22.9	3.4	1.7
	短期大学部	14.8	51.9	27.4	5.2	0.7
効果的な表現方法でプレゼンテーションをすることができる	大学	16.8	39.1	33.0	10.1	1.1
	短期大学部	10.4	45.2	26.7	16.3	1.5
自分で気づいて発見した社会や地域の課題について、解決に向けて取り組むことができる	大学	12.8	39.1	36.3	9.5	2.2
	短期大学部	9.6	45.9	34.8	8.1	1.5

Q13. あなたは本学を、これから進学する身の回りの人にどの程度お勧めしたいと思いますか。(複数選択不可)

	是非勧めたい (%)	勧めてもよい (%)	どちらかという と勧めたくない (%)	全く勧めたくない (%)
大学	6.7	66.5	22.9	3.9
短期大学部	14.1	77.8	5.2	3.0

Q15. 自身の現在にあてはまるもの(達成度)、また入学時と卒業時を比較してあてはまるもの(成長実感)を項目ごとにお選びください。(各項目1つ選択)

現代文化学部
言語文化学科 日本語文化コース

	達成度					成長実感				
	あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	どちらともいえない (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)	成長した (%)	やや成長した (%)	どちらともいえない (%)	あまり成長していない (%)	成長していない (%)
卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)										
日本語学・日本文学・日本文化および表現・創作に関する専門知識を修得している	15.4	57.7	19.2	3.8	3.8	26.9	53.8	11.5	3.8	3.8
自らの論理的な思考・判断のプロセスや結果を説明できる、高い表現力・理解力および適切なコミュニケーション能力を修得している	23.1	53.8	15.4	3.8	3.8	19.2	53.8	19.2	3.8	3.8
地域社会や現代日本における諸課題について、その本質を探究する視点と姿勢を持っている	19.2	42.3	26.9	7.7	3.8	15.4	30.8	38.5	7.7	7.7
地域社会や現代日本における諸課題について、豊かな発想力をもって解決策を見出す力を修得している	15.4	38.5	34.6	7.7	3.8	11.5	38.5	42.3	3.8	3.8

現代文化学部
言語文化学科 国際コミュニケーションコース

	達成度					成長実感				
	あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	どちらともいえない (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)	成長した (%)	やや成長した (%)	どちらともいえない (%)	あまり成長していない (%)	成長していない (%)
卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)										
異文化に関する知識を体系的に理解している	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0	30.0	50.0	10.0	10.0	0.0
国際社会、地域社会への興味・関心を養い、そこで活躍できる力を修得している	10.0	60.0	20.0	0.0	10.0	10.0	70.0	10.0	0.0	10.0
発信型の英語力などの語学の学修を通じて、国際社会、地域社会に貢献できる知識・技能を修得している	10.0	70.0	10.0	0.0	10.0	10.0	70.0	10.0	0.0	10.0
国際社会、地域社会に貢献できる力を養う科目の体系的な学修を通じて、思考力・判断力を養い、他者と協働できる力を修得している	10.0	60.0	30.0	0.0	0.0	10.0	70.0	20.0	0.0	0.0

Q15. 自身の現在にあてはまるもの(達成度)、また入学時と卒業時を比較してあてはまるもの(成長実感)を項目ごとにお選びください。(各項目1つ選択)

現代文化学部
マスコミュニケーション学科

	達成度					成長実感				
	あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	どちらともいえない (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)	成長した (%)	やや成長した (%)	どちらともいえない (%)	あまり成長していない (%)	成長していない (%)
卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)										
講義・ゼミナール、さらにはフィールドワークなどの実践的な活動を通じて、「話す・聴く・読む・書く」こと、そして、「チームで取り組む」ことをくり返しトレーニングしている	54.5	36.4	9.1	0.0	0.0	63.6	18.2	18.2	0.0	0.0
講義・ゼミナール、さらにはフィールドワークなどの実践的な活動を通じて、社会人にふさわしいコミュニケーション能力を身に付けている	54.5	27.3	18.2	0.0	0.0	54.5	36.4	9.1	0.0	0.0
テレビ・新聞などの在来メディアとインターネットなどの新しいメディアの双方に関する基礎知識を持っている	45.5	45.5	9.1	0.0	0.0	54.5	27.3	18.2	0.0	0.0
ビジネスの現場や地域社会において、基本的な対応ができる「取材・調査・企画・制作・情報発信」などのスキルを身に付けている	45.5	18.2	18.2	9.1	9.1	45.5	27.3	18.2	9.1	0.0
観光文化や観光ビジネスに関する基礎知識を持っている	54.5	18.2	9.1	9.1	9.1	63.6	9.1	9.1	0.0	18.2
地域の魅力を発見、さらには観光情報・プランへ発展させるための基本的なスキルを身に付けている	54.5	27.3	18.2	0.0	0.0	54.5	9.1	27.3	9.1	0.0

現代文化学部
社会臨床心理学科

	達成度					成長実感				
	あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	どちらともいえない (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)	成長した (%)	やや成長した (%)	どちらともいえない (%)	あまり成長していない (%)	成長していない (%)
卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)										
人間の心や行動に関して、実験や調査および検査といった科学的手法を用いて明らかにできる	17.4	43.5	21.7	10.9	6.5	17.4	50.0	21.7	4.3	6.5
人間の心や行動に関して、報告書を作成できるスキルを修得している	10.9	50.0	21.7	8.7	8.7	17.4	41.3	28.3	6.5	6.5
自分自身だけでなく、他者の心や行動が理解できるスキルを修得している	21.7	50.0	19.6	6.5	2.2	23.9	45.7	19.6	8.7	2.2
他者とのコミュニケーションができ、共感をもって他者を支援・援助することができるスキルを修得している	26.1	50.0	21.7	0.0	2.2	34.8	47.8	13.0	2.2	2.2

Q15. 自身の現在にあてはまるもの(達成度)、また入学時と卒業時を比較してあてはまるもの(成長実感)を項目ごとにお選びください。(各項目1つ選択)

現代文化学部
子ども発達教育学科

	達成度					成長実感				
	あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	どちらともいえない (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)	成長した (%)	やや成長した (%)	どちらともいえない (%)	あまり成長していない (%)	成長していない (%)
卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)										
子どもの健全な発達を支援するにふさわしい豊かな教養を修得している	35.9	46.2	15.4	2.6	0.0	46.2	43.6	10.3	0.0	0.0
円滑な人間関係や適確な自己表現など社会人として必要な素養を深めている	35.9	53.8	10.3	0.0	0.0	38.5	53.8	5.1	2.6	0.0
子どもの発達を多面的、総合的に把握するための知識と技能を高めている	17.9	59.0	20.5	2.6	0.0	41.0	41.0	17.9	0.0	0.0
子どもの思考力や判断力などの育成を支援できる実践的力量を高めている	15.4	61.5	20.5	2.6	0.0	33.3	53.8	12.8	0.0	0.0
地域社会や職場において子育てや次世代育成支援に寄与できる実践力を備えている	10.3	59.0	28.2	2.6	0.0	33.3	38.5	23.1	5.1	0.0

健康栄養学部
管理栄養学科

	達成度					成長実感				
	あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	どちらともいえない (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)	成長した (%)	やや成長した (%)	どちらともいえない (%)	あまり成長していない (%)	成長していない (%)
卒業認定・学位授与に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)										
社会人としての幅広い視野と豊かな人間性を備えている	4.3	44.7	42.6	8.5	0.0	12.8	59.6	21.3	6.4	0.0
食と健康に常に関心及び社会の福祉に貢献しようとする意思を持っている	14.9	55.3	25.5	4.3	0.0	17.0	53.2	25.5	4.3	0.0
生涯にわたって主体的に学ぶ意欲と態度を身に付けている	8.5	57.4	25.5	8.5	0.0	10.6	57.4	23.4	8.5	0.0
人間のライフステージすべてにわたる健康に係る諸問題について理解している	4.3	57.4	34.0	4.3	0.0	6.4	74.5	12.8	6.4	0.0
人間のライフステージすべてにわたる健康に係る諸問題の適切な解決策を提案できる問題解決力と判断力・思考力・行動力を身に付けている	4.3	46.8	42.6	6.4	0.0	6.4	61.7	25.5	6.4	0.0
専門職としての管理栄養士に必要なコミュニケーション力、プレゼンテーション力、チームワーク力を有している	6.4	48.9	42.6	2.1	0.0	8.5	55.3	29.8	6.4	0.0
チームの一員として一人ひとりの状況に応じた栄養マネジメントや健康指導等を効果的に行なうことができる実践力や指導力を身に付けている	2.1	42.6	46.8	6.4	2.1	6.4	63.8	21.3	8.5	0.0
管理栄養士や栄養教諭の職務遂行に必要な高度な専門的知識・技術を身に付けている	6.4	44.7	40.4	6.4	2.1	10.6	61.7	23.4	4.3	0.0

Q15. 自身の現在にあてはまるもの(達成度)、また入学時と卒業時を比較してあてはまるもの(成長実感)を項目ごとにお選びください。(各項目1つ選択)

短期大学部
幼児教育科

	達成度					成長実感				
	あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	どちらともいえない (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)	成長した (%)	やや成長した (%)	どちらともいえない (%)	あまり成長していない (%)	成長していない (%)
卒業の認定に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)										
子どもの最善の利益を尊重することができる	39.5	46.1	11.8	0.0	2.6	27.6	53.9	15.8	1.3	1.3
保育に携わるうえで欠かせない多様な状況における思考力と判断力及び豊かなコミュニケーション力を身に付けている	21.1	53.9	21.1	1.3	2.6	35.5	53.9	7.9	1.3	1.3
子どもの心身の健康、発達、保育の本質や保育者の役割などに関する基礎的、基本的な知識と技能を身に付けている	19.7	59.2	18.4	1.3	1.3	35.5	50.0	11.8	1.3	1.3
保育者としての専門性を深めている	19.7	59.2	17.1	2.6	1.3	39.5	48.7	9.2	1.3	1.3
生活に即した保育を構想することを通して、自己実現の喜びを持つとともに社会に貢献しようとする力と態度を身に付けている	27.6	53.9	15.8	1.3	1.3	32.9	55.3	10.5	0.0	1.3

短期大学部
総合生活デザイン学科

	達成度					成長実感				
	あてはまる (%)	ややあてはまる (%)	どちらともいえない (%)	あまりあてはまらない (%)	あてはまらない (%)	成長した (%)	やや成長した (%)	どちらともいえない (%)	あまり成長していない (%)	成長していない (%)
卒業の認定に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)										
よりよい自己実現をめざすため、自己肯定感に支えられた高い傾聴、受信力を持っている	18.2	36.4	39.4	3.0	3.0	12.1	51.5	27.3	6.1	3.0
よりよい自己実現をめざすため、自らの人生をデザインしている	24.2	48.5	18.2	9.1	0.0	12.1	54.5	27.3	6.1	0.0
よりよい自己実現をめざすため、社会の一員として共に生きるための資質・能力を身に付けている	18.2	57.6	21.2	3.0	0.0	15.2	60.6	21.2	3.0	0.0
生活に関わる分野において社会に寄与できる人材として自立するための確かな専門的知識・技能及び実践力を身に付けている	24.2	45.5	27.3	3.0	0.0	12.1	51.5	36.4	0.0	0.0
職業人としての自覚を深めている	18.2	39.4	33.3	9.1	0.0	15.2	42.4	33.3	9.1	0.0
継続的に専門性を高めつつ地域社会や教育界における課題を分析し問題解決する力と態度を身に付けている	15.2	33.3	42.4	9.1	0.0	9.1	42.4	42.4	6.1	0.0

Q15. 自身の現在にあてはまるもの(達成度)、また入学時と卒業時を比較してあてはまるもの(成長実感)を項目ごとにお選びください。(各項目1つ選択)

短期大学部 美術科		達成度					成長実感				
		あてはまる (%)	ややあては まる (%)	どちらとも いえない (%)	あまりあて はまらない (%)	あてはまら ない (%)	成長した (%)	やや成長し た (%)	どちらとも いえない (%)	あまり成長 していない (%)	成長してい ない (%)
卒業の認定に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)											
芸術活動や制作活動を通して、自己表現と伝達を実現するための表現力・創造力を身に付けている		25.0	62.5	12.5	0.0	0.0	37.5	37.5	25.0	0.0	0.0
芸術活動や制作活動を通して、社会において豊かな人間関係を築く力を身に付けている		20.8	50.0	16.7	12.5	0.0	25.0	37.5	33.3	4.2	0.0
美術分野の基盤となる素材や技術に関する専門的知識と技能を身に付けている		16.7	50.0	29.2	4.2	0.0	29.2	45.8	25.0	0.0	0.0
美術分野の基盤となる素材や技術に関する専門的知識と技能を用いた創造性豊かな表現ができる力を身に付けている		16.7	54.2	25.0	4.2	0.0	20.8	41.7	33.3	4.2	0.0
芸術活動や制作活動の中で常に向上心を持っている		25.0	41.7	29.2	4.2	0.0	37.5	25.0	37.5	0.0	0.0
集中力や持続力を保つ中で専門性を磨いている		20.8	41.7	25.0	12.5	0.0	16.7	50.0	25.0	8.3	0.0
表現者・職業人として地域社会や教育界に貢献できる力と態度を身に付けている		8.3	37.5	45.8	8.3	0.0	8.3	25.0	50.0	16.7	0.0

令和2年度卒業予定者アンケート調査分析結果

【目的】

本調査の目的は、卒業予定者に対し、在学期間を通しての成長実感、本学への評価・推奨意向を聴取することで、本学の強み・弱みや学生の特性・特徴を把握し、今後の本学の発展のための参考資料とする。また、概要を示すため、公表の対象は比治山大学短期大学部2年生および比治山大学4年生卒業予定者卒業予定者のみとした。ただし、本年度の大学生の回答率が50%未満であるため、大学生の分析結果については参考として記す。

【結果】

卒業予定者の満足度について肯定的に回答している割合は、「授業全般」が短大/大学で90.4%/81.6%、「授業外での教員との関わり」が89.6%/80.5%、「大学生生活全般」が88.8%/80.4%と高い値を示した。昨年度との統計的な差は検出されなかった。

卒業認定・学位授与に関する方針(ディプロマポリシー：以降 DP)の達成度・成長実感が高い学科では、達成度が80.3%、成長実感が86.8%であった。9学科/コース全49DPのうち、達成度が60%以上のDPは39方針79.6%(昨年度64.8%)であった。

卒業予定者の1週間の生活時間のうち「大学の授業の予習・復習など」「大学の授業以外の学習」の分布を在學生と比較した結果、大学生のみ統計的に有意な差が示された。具体的には、「予習・復習」について、0時間の学生は卒業予定者のほうが在學生よりも多く、11～20時間の学生は在學生のほうが卒業予定者よりも多かった。また「授業以外の学習」について、0時間の学生と21時間以上の学生は卒業予定者が在學生よりも多く、1～10時間の学生は在學生が卒業予定者よりも多かった。

授業の有用度について肯定的に回答している割合は、「専門分野の知識・理解」が短大/大学で91.1%/85.5%、「幅広い知識、ものの見方」が91.1%/84.9%と高い値を示した。特に、「幅広い知識、ものの見方」は昨年度と比べ統計的にも有意に割合が増加していた。

Gritと呼ばれる根気(「勤勉である」等)と一貫性(「物事に対して夢中になっても、しばらくするとすぐに飽きてしまう」等)からなる指標については、効果量の検定結果から、先行研究の学生と比べて一貫性因子のみ本学の学生がより望ましい数値であることが示された。 $(M=3.1, SD=1.07, d=.22)$

【総評】

卒業予定者を対象にした今回の調査結果から、学生たちの満足度が8割前後と高く、DPの達成度も成長実感も8割を超えていることから、卒業予定者にとって十分な教育・支援が行えたことが伺える。特に、DPの達成度が60%以上の方針が昨年度に比べ1割以上増えたことは各学科が目指す学生像を着実に育てていることを示唆する。

在學生と比較した1週間の生活時間に占める学習時間の割合から、大学では卒業予定者になると、「予習・復習」の時間は減る一方で、「それ以外の学習」の時間は、21時間以上する学生と0時間の学生が、在學生よりも多いことが示された。この結果から、卒業予定年度までに主体的に学修する学生を増やすことが課題であると考えられる。

授業の有用度については昨年度よりも肯定的な回答であったことや、Grit が昨年度に引き続き先行研究の学生と比べて望ましい数値であったことから、本学の卒業予定者が社会に出て十分な役割を發揮できることを示唆する結果となった。しかし、昨年度はこの Grit の値が両因子において肯定的な回答であったが、今年度は一貫性因子のみであったことや、効果量も小さい値であったことから、今後はこの値が高くなる学生の特徴を理解するために、調査対象者を蓄積し分析していく。

(補足説明)

Grit とは、Duckworth, A. L.(2007)が提唱した「長期的な目標に向けた一貫性(Consistency of Interest : 興味の一貫性)と根気(Perseverance of Effort: 努力の忍耐力)」と定義されるもので、他領域における成功を IQ よりも裏付ける要素である。具体的な内容としては、「始めたことは何であれやり遂げる」や「物事に対して夢中になっても、しばらくするとすぐに飽きてしまう」といった質問項目(短縮版尺度は 8 項目)によって構成されている。比較対象とした先行研究は西川・奥上・雨宮(2015)である。